

小牧市中心市街地グランドデザイン

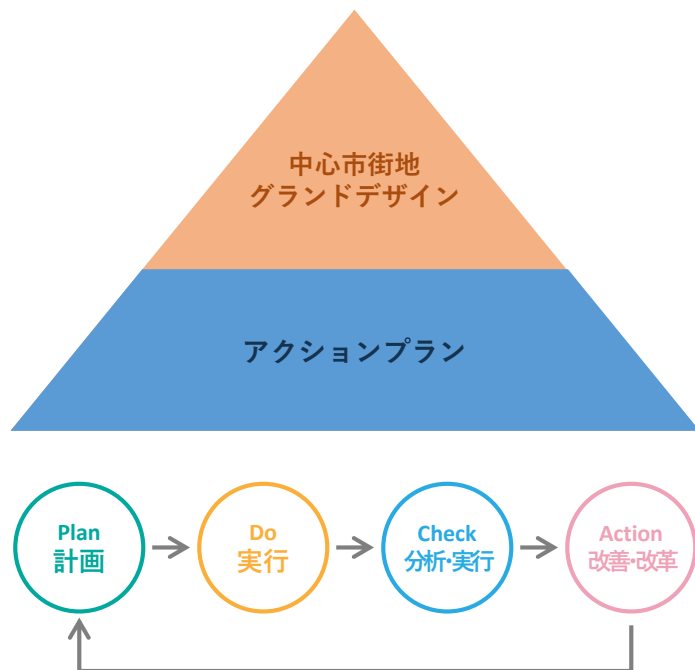
アクションプラン

令和6年度 - 令和8年度



アクションプランの位置づけ

小牧市中心市街地グランドデザインでは、中心市街地が目指すまちの姿として、「訪れたいまち」・「住みたいまち」・「活力があるまち」という3つを設定し、その目指す姿ごとに施策を取り組むことにより、中心市街地の将来像「小牧山や中心市街地の魅力を活かし歩いて楽しめる活気あるまち」の実現を目指すこととしています。

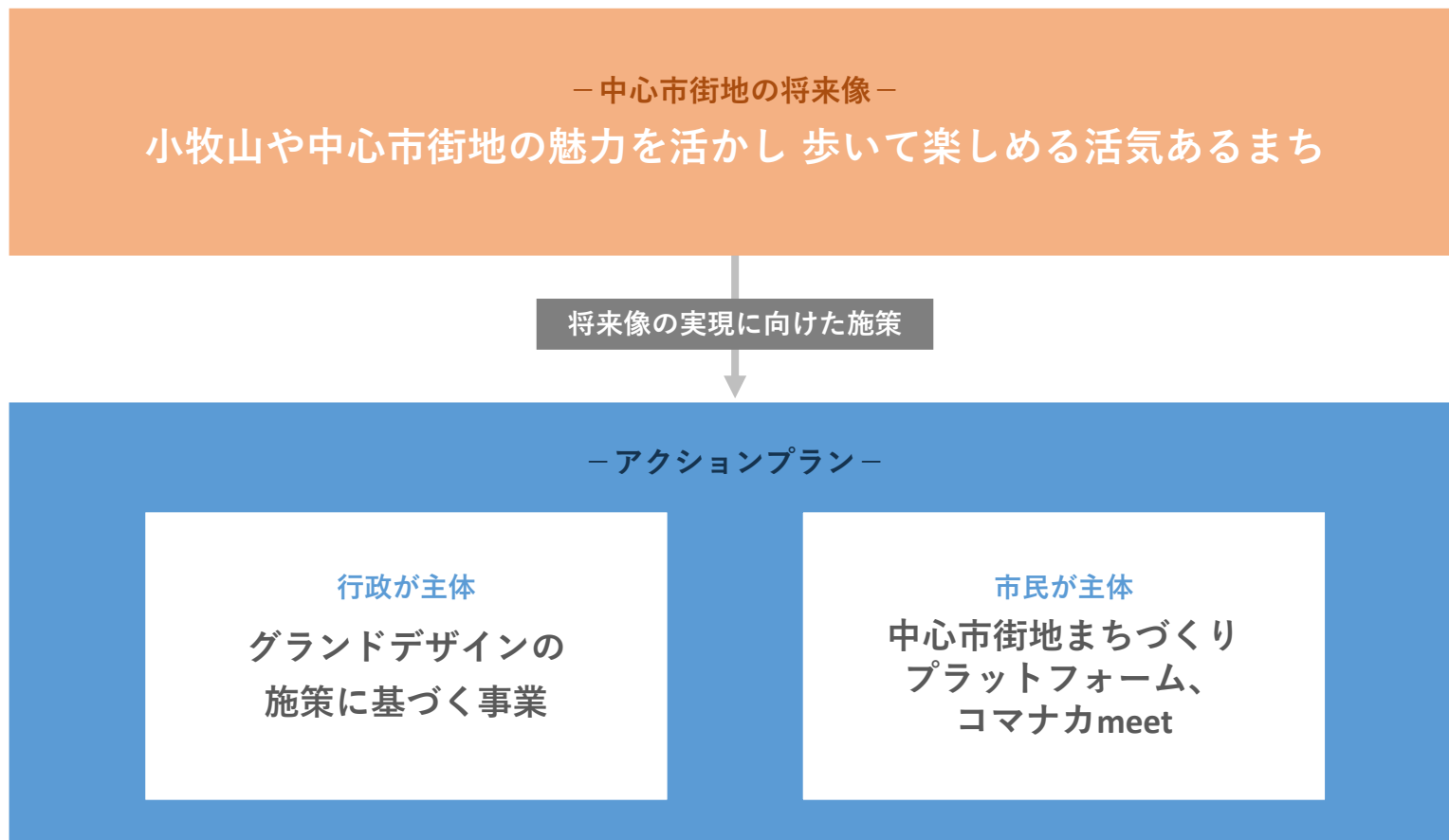


アクションプランは、中心市街地グランドデザインの施策に基づく事業及び中心市街地まちづくりプラットフォームにおいて企画・実施する各種事業の3ヵ年の実施計画です。事業の実施状況に応じて、毎年更新し策定します。

このアクションプランは、PDCAサイクルのプロセスを踏まえ、計画の進捗管理と事業の改善を行っていきます。

アクションプランの構成

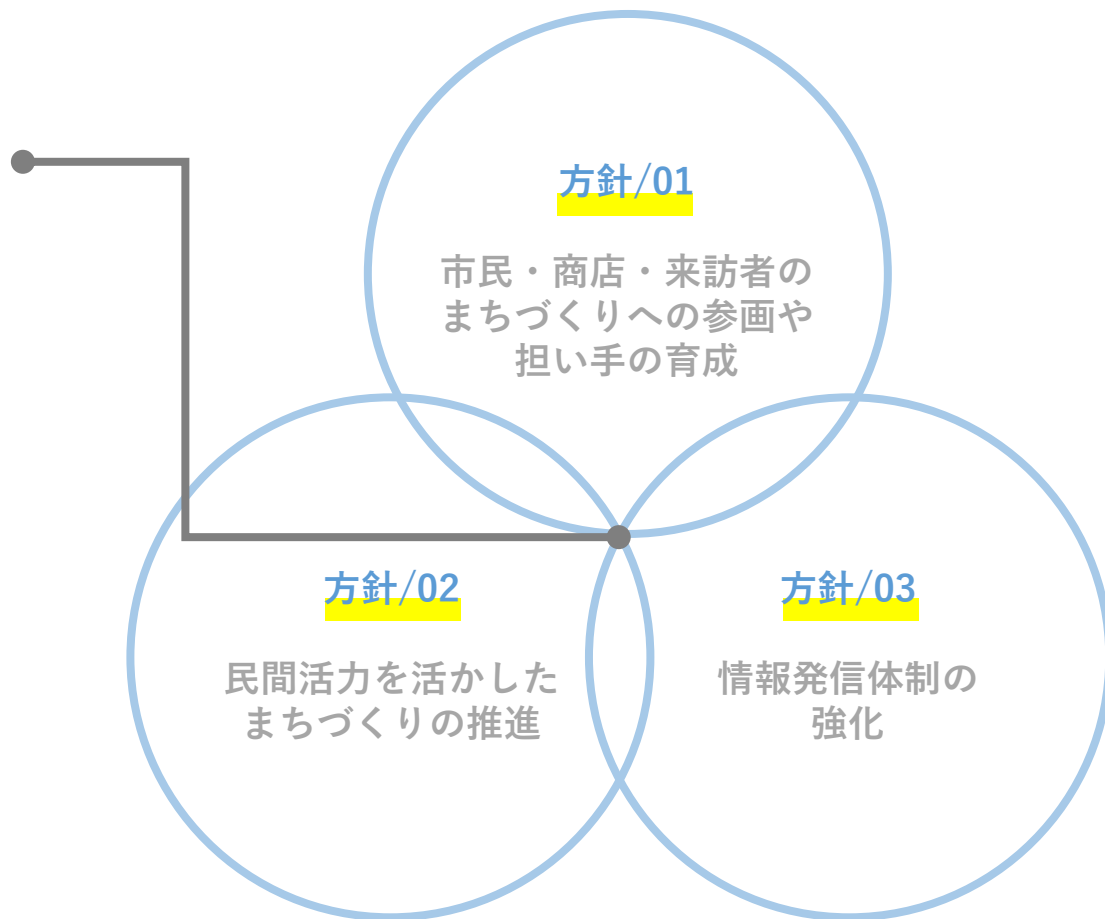
ランドデザインで描く中心市街地の将来像の実現に向けて、行政が主体として行う事業に加えて市民の主体的なまちづくりへの参加による様々な施策を展開していきます。アクションプランは、**行政と市民がそれぞれ主体となり力を発揮**することで、その実効性を高めていきます。



中心市街地まちづくり プラットフォーム（繋がる場）

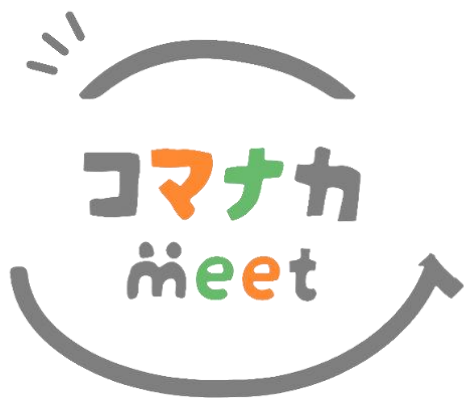
住民、商店、関係団体等の各主体が連携・協働して課題を解決していく体制・環境を整えるため、ランドデザインに示された3つの方針に沿って、**各主体が繋がる場**として中心市街地まちづくりプラットフォームを開設。

LINEオープンチャットの運営や**コマナカmeet**の推進など、オンラインと対面の双方で、まちづくりに携わる機会を提供している。



中心市街地活性化プロジェクト（愛称：コマナカmeet）とは、プラットフォームをきっかけに繋がった市民の主体的なまちづくり活動（自主活動）により、中心市街地の活性化を目指す取組です。市民が自ら企画を立て、社会実験としてチャレンジ的な自主活動の実践を繰り返していくことで、取組の活性化と自主活動を担うコミュニティの醸成を図ります。

中心市街地活性化
プロジェクト



愛称：コマナカmeet

【取組実績】

（令和4年度）

中心市街地まちづくりワークショップを3回実施。令和5年度に実施する社会実験企画のアイデア出しを行う。

（令和5年度）

ワークショップで出されたアイデアを社会実験として実現。こまき街なか大運動会（駅前運動会）と地域のみんなでつくった青空カフェ（ストリートファニチャー・地産地消茶屋）を開催。

これまでの取り組みと今後の展開

STEP/01

令和4年度

中心市街地まちづくりプラットフォームの開設。LINEオープンチャットとワークショップによるオンラインと対面の双方で運用し、自主活動の展開やプレイヤーの発掘・育成につなげていく土台の整備を行った。

STEP/02

令和5年度

ワークショップで発案のあったアイデアを実施可能な範囲で実現。市民が自ら企画・実践して中心市街地活性化を行っていく取組を「コマネカmeet」と称して、行政とプレイヤー双方の協力により3つの社会実験を行った。

令和6年度

プロジェクトオーナー制の導入で、プレイヤーがより主体性を発揮して自主活動を実施できるよう支援体制を強化。

★プロジェクトオーナー制

プロジェクトの発案者を中心に、賛同者を集めて自主活動を実施する進め方

STEP/03

令和7年度～

チャレンジ的な自主活動の実践を繰り返すことで、プレイヤーのレベルアップや様々なステークホルダーからの支援獲得など、各主体が連携・協働しながら自主活動を継続的に展開する体制の確立を目指す。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度～
中心市街地まちづくりプラットフォームの運用	実施	⇒	⇒
自主活動の実施 (社会実験)	実施	⇒	継続的展開
自主活動支援	実施	⇒	支援方法見直し

中心市街地グランドデザインの体系



将来像

中心市街地の課題

取組のヒント

目指す姿と取組方針

施策

「まちの将来像」

小牧山や中心市街地の魅力を活かし歩いて楽しめる活気あるまち
 歴史・文化を感じながら、にぎわいと交流が生まれるまちへ

- ・新旧ふたつの強みを活かすこと
- ・若い世代の定着を図ること
- ・公共交通の利便性を活かしたまちづくり
- ・多様な主体の協働
- ・中心市街地活性化のニーズ、重要性に応えること

中心市街地できるとイイこと

- ◆ 雰囲気のあるシンボルロードにして心象距離が短くなるとイイね
- ◆ 歩道にベンチなどを設置して、飲食や休憩ができるとイイね
- ◆ シンボルロードだけでなく周辺路地でも何か展開ができるとイイね
- ◆ 駅前から小牧山にかけて歴史・文化を活用した魅力創りができるとイイね
- ◆ 気軽に止められる駐車場があるとイイね
- ◆ 市内外の方が楽しめるイベント（マルシェ、まち歩き等）が開催できるとイイね

- ◆ 高度利用につながる再開発しやすい仕組みがあるとイイね
- ◆ 公園や芝生広場のある自由空間ができるとイイね
- ◆ 良好な街並みや小牧山の見える景観が継続されるとイイね
- ◆ 生活に便利な店舗が集積できるとイイね

- ◆ 飲食店などが気軽に出店できる仕組みがあるとイイね
- ◆ 出店希望者と旧商店経営者をつなぐ仕組みがあるとイイね
- ◆ 空き店舗のリノベーションがしやすくなる仕組みがあるとイイね

- ・中央図書館、こども未来館の活用
- ・小牧駅から小牧山にかけて雰囲気のある景観づくり
- ・歴史資源を活用した誘客
- ・近隣店舗や資源への誘導
- ・滞在時間の創出
- ・サイン戦略
- ・一定の商業集積（回遊性）

- ・マンション等の立地促進
- ・居住者に利便性の高いサービスの提供
- ・交通結節点機能の充実
- ・一定の商業集積（選択枝の充実）
- ・公園（みどり）の整備
- ・SNSの有効活用

- ・交通結節点機能の充実
- ・近隣店舗や地域資源への誘導
- ・空き家、空き店舗対策
- ・市民主体によるイベント開催
- ・店舗賃貸借のマッチング体制の構築
- ・起業のための環境整備

訪れたいまち

地域資源や景観などの魅力を活かし、歩いて楽しむことができるまちづくり

住みたいまち

都市機能や生活利便性の高い施設が集積し、快適に暮らせることができるまちづくり

活力があるまち

特色のある店舗等が集積し、新たな発見や出会いがありチャレンジを応援するまちづくり

- 施策 1-1
こども未来館・中央図書館等の魅力を活かしたにぎわいの形成
- 施策 1-2
歴史・文化資源の活用
- 施策 1-3
歩いて楽しい歩道ネットワークの構築

- 施策 2-1
まちなか居住の推進
- 施策 2-2
緑とやすらぎのあるまちの創造
- 施策 2-3
地域で支え合うまちの創出

- 施策 3-1
リノベーションまちづくりの推進
- 施策 3-2
多様な人が主役となりにぎわいを生み出す環境の創出
- 施策 3-3
利便性の高い公共交通ネットワークの充実



An illustration of a vibrant town street. On the left, there are shops with green awnings and signs. In the center, a white car is driving on a road with white arrows. On the right, there are more shops, including one with a pink sign that says 'Cafe & Co.', and people are walking and sitting on benches. The background shows green hills and a blue sky with white clouds.

目指す姿 1

訪れたいまち

【取組方針】

地域資源や景観などの魅力を活かし、歩いて楽しむことができるまちづくり

中心市街地には、市のシンボルである小牧山をはじめ、新たに整備されたこども未来館や中央図書館など魅力的な地域資源や公共施設が集積しています。これらの拠点を、市の玄関口である小牧駅から小牧山までのエリアで面的につなげ、歩いてみたくなる回遊性のあるまちなかを目指します。

施策1-1 こども未来館・中央図書館等の魅力を活かしたにぎわいの形成

取組名	取組内容	R6	R7	R8	備考
施設を訪れた人の周辺への誘導 (中心市街地にぎわい創出事業)	にぎわい広場でのイベントを、こども未来館・中央図書館のデジタルサイネージで告知する。 イベント情報をにぎわい広場Instagramにて発信する。	実施	⇒	⇒	流行にあったSNSツールの使用
こども未来館での講座や交流・体験CAMPの実施 (受付業務及び講座開催委託)	学校や家庭では体験できない新しい学びが見つかる講座を開催する。	講座の開催	⇒	⇒	
中央図書館でのイベント・企画展示等の実施	図書館主催の講座及び催しを開催する。また、庁内各課や市民活動団体等が開催する多種多様な催しや作品展示について、イベントスペースで実施できるよう受け入れを行う。	実施	⇒	⇒	
魅力ある様々なイベントを開催しやすい環境や仕組みづくり (中心市街地にぎわい創出事業)	小牧にぎわい隊によるイベントの開催のほか、駅前イルミネーション等のイベント時にあわせてキッチンカーの誘致を実施する。	実施	⇒	⇒	
手続きの簡略化 (中心市街地にぎわい創出事業)	小牧市にぎわい広場の利用申請のWEB申し込みを推進する。	実施	⇒	⇒	
小牧駅西駅前広場からにぎわい広場周辺にかけての一体的な利用(小牧駅周辺整備事業)	駅前広場の整備状況に合わせ、駅前広場と市道小牧駅西線を挟んだにぎわい広場との一体的な利活用を実施する。	実施	⇒	⇒	

施策1-2 歴史・文化資源の活用

取組名	取組内容	R6	R7	R8	備考
史跡小牧山主郭地区の整備 (史跡小牧山主郭地区整備事業)	平成20年度より実施している小牧山主郭地区の発掘調査成果をもとに、歴史館の周辺について、順次、史跡整備工事を実施する。	実施	⇒	⇒	
小牧山歴史館の展示リニューアル (文化財等展示施設改装・整備事業)	小牧山歴史館の展示内容を戦国時代をテーマとした内容に更新するとともに、歴史館内で展示していた歴史資料を展示する、(仮称)歴史民俗資料展示施設を新たにラピオビル4階に整備する。	実施	整備完了		
れきしるこまきでの企画展示の実施	れきしるこまき(小牧山城史跡情報館)において発掘調査の最新情報や主郭地区等の整備状況を紹介する企画展の開催や講演会、ワークショップ等を実施する。	実施	⇒	⇒	
外国人向け情報発信の充実	市観光協会のホームページ多言語対応や市内の文化財等を紹介する外国人向けパンフレット等を作成する。	実施	⇒	⇒	
歴史・文化資源の周遊まち歩きルート の設定	既存のパンフレット等の活用。小牧市観光協会と連携したガイドを実施する。	実施	⇒	⇒	
大学や各種団体と連携した歴史講座の 開催 (文化財啓発事業)	愛知文教大学等へ事業委託を行い、歴史講座や古文書講座等を実施する。	講座の開催	⇒	⇒	

施策 1 - 3 歩いて楽しい歩道ネットワークの構築

取組名	取組内容	R6	R7	R8	備考
歩行者利便増進事業	道路管理者として歩行者利便増進道路に指定し、幅員構成の再配置に伴う改築工事の際にベンチ等の休憩施設を整備し、利便増進誘導区域における占用許可基準の緩和により民間事業者による利便増進施設（ベンチやテーブル等）の設置を可能とする。				指定基準の緩和等の状況により実施
観光案内、歴史案内サイン等の設置 (サイン設置事業)	R7に改定予定の景観計画をふまえ、織田信長や小牧山城、社寺などを紹介し、その魅力を発信するため案内サインを整備する。		検討	⇒	
シンボルロードから路地への誘導 (サイン設置事業)	路地空間への魅力的な施設や店舗への誘導を図る案内サインを整備する。 (店舗等の立地状況を踏まえ実施)				店舗等の立地状況を踏まえ実施
小牧市都市景観基本計画の改定	中心市街地にふさわしい景観形成を目指し、グランドデザインの取組みを踏まえた小牧市都市景観基本計画の改定を行う。	改定			
街頭装飾 (中心市街地にぎわい創出事業)	冬季における小牧駅周辺イルミネーションを実施する。	実施	⇒	⇒	
旧図書館跡地利活用の検討	民間活力を導入した公園整備を検討及び推進する。	設計・ 施工	供用開始		



目指す姿 2

住みたいまち

【取組方針】

都市機能や生活利便性の高い施設が集積し、快適に暮らせることができるまちづくり

本市の中心市街地は都市機能や生活利便性の高い施設が集積し、他の地区と比べて暮らしやすい環境が整っています。

この高い生活利便性に加え、公園など人々がやすらぎを感じられる空間の整備や地域で支え合うまちづくりを推進することで良好な住環境を創出し、

すべての世代が快適に暮らし、互いに支え合うまちなかを目指します。

施策2-1 まちなか居住の推進

取組名	取組内容	R6	R7	R8	備考
地区計画の検討	土地の高度利用を促進するため地区計画の策定や見直しを検討する。(民間の再開発事業等の状況により実施)				民間の再開発事業等の状況により実施
民間再開発の活性化支援策の検討 (市街地再開発事業)	民間再開発の活性化に向け、「小牧市市街地再開発事業等補助金等交付要綱」の見直しなど、民間事業者に対しインセンティブとなりえる支援策を検討する。	制度の検討	⇒	⇒	
空き家バンク	空き家の賃貸・売却を希望する所有者から提供された情報を集約し、空き家をこれから利用・活用したいと考えている方に紹介する。	実施	⇒	⇒	
災害時におけるボランティア活動に関する協定	災害応急対策又は災害復旧対策としてのボランティア受入れ活動に要するボランティア支援センターを設置する。	支援センター立上げ訓練	⇒	⇒	
災害時における一時避難所としての使用に関する協定	小牧駅周辺の帰宅困難者及び避難者の一時避難所として東春信用金庫の一部施設を使用する。	協定内容、担当の相互確認	⇒	⇒	

施策2-2 緑とやすらぎのあるまちの創造

取組名	取組内容	R6	R7	R8	備考
駅東公園の再整備 (小牧駅周辺整備事業)	ランドデザインの取組方針に基づき、駅東公園の再整備を行う。	検討	⇒	⇒	
小規模公園の整備 (小規模公園整備事業)	地域住民や訪れた人が気軽に休憩したり、小さな子どもが遊べる公園を整備する。				土地利用状況に応じて検討
史跡小牧山の維持管理 (史跡小牧山管理事業)	史跡小牧山内にある園路や案内看板、屋外トイレや園路照明などを適切に維持管理する。	維持管理	⇒	⇒	
史跡小牧山の緑の適切な維持管理	史跡小牧山内の樹木について、散策される方の安全や遺構の保護の観点から、伐採や枝払い等を実施する。	維持管理	⇒	⇒	
シンボルロードの緑化推進 (公園緑地施設改修事業)	「小牧市都市景観基本計画」の改定に合わせ、景観を統一化するための植樹帯リニューアルを検討する。		検討	⇒	
既存公園・緑道の適正な維持・管理 (公園緑地施設改修事業) (児童遊園施設整備事業)	公園施設長寿命化計画に基づく遊具や施設などの適正な管理と安全性の確保及び必要に応じた施設の更新を行う。経年劣化が進む児童遊園を安心して遊べる施設とするため、計画的に施設再整備を行う。	実施	⇒	⇒	
緑化支援制度の充実 (緑化推進事業)	あいち森と緑づくり都市緑化推進事業に基づく市民や事業者が行う優良な緑化事業に対して一部補助することにより、民有地の緑化を推進を実施する。	実施	⇒	⇒	
	「小牧市都市景観基本計画」の改定に合わせ、緑化重点地区における小規模緑化に対する補助制度を検討する。		検討	⇒	

施策2-3 地域で支えあうまちの創出

取組名	取組内容	R6	R7	R8	備考
子育て支援に関する相談、教室の充実 (子育て世代包括支援センター運営事業)	こども・子育てに関する相談の対応や妊娠期から子育て期の親子のための支援講座や教室の開催。子育て中の保護者のリフレッシュのため、一時的に乳幼児を預かるなどして、子育て世帯を支援するとともに、妊産婦を対象にこまき巡回バス「こまくる」に無料で乗車できるフリーパスの配布や産後うつ対策として、自宅等に訪問する育児サポートを実施する。	実施	⇒	⇒	
市民活動や生きがいがづくり支援体制の充実	ワクティブこまきを拠点として「アクティブシニアのための総合相談窓口」など、就労からボランティア活動に至るまで、ワンストップで、相談・情報提供するとともに、各種活動をつなぐ支援を行う。	実施	⇒	⇒	
多文化共生に関する講座や交流イベントの実施	日本人市民と外国人市民による多文化共生の課題についてのワークショップを開催する。 (毎年1回の予定でワークショップ開催) 小牧市国際交流協会に対し、協会事業の円滑な運営及び組織の確立を目指し、引き続き支援を行う。	実施	⇒	⇒	
地域協議会設立推進・活動支援事業	地域協議会に対し、地域助け合い交付金による財政支援や地域パートナー制度に基づく人的支援などを通じて活動の活性化を図る。	実施	⇒	⇒	



目指す姿 3

活力があるまち

【取組方針】

特色のある店舗等が集積し、新たな発見や出会いがあり
チャレンジを応援するまちづくり

中心市街地の軸となるシンボルロードから路地にかけて
空き家・空き店舗が点在しています。

これらを一つの地域資源として捉えて有効活用するため、
活性化を担うヒトがチャレンジしやすい仕組みを構築したり、
特色ある店舗や小牧の歴史や文化を感じる空間を創出することで、
人が集まりにぎわうまちなかを目指します。

施策3-1 リノベーションまちづくりの推進

取組名	取組内容	R6	R7	R8	備考
空き店舗を活用するためのマッチングの仕組みづくり	空き店舗調査、データベース整理、起業希望者とのマッチングを実施する。	制度の検討	⇒	⇒	
中心市街地空き店舗活性化支援補助金	中心市街地の指定地域内の空き店舗に新たにテナントとして出店する際に必要な店舗の賃借料を補助する。	実施	⇒	⇒	制度の在り方の検討、創業支援セミナー等と随時連携
創業支援等事業計画の推進	計画に基づき商工会議所、信用保証協会、金融機関と連携した創業支援セミナーを開催する。創業支援利子補給補助金、起業・会社設立支援補助金を実施する。その他、市内金融機関で創業サポート窓口を設置、商工会議所と東春信用金庫により創業塾を開催する。	実施	⇒	⇒	空き店舗対策との連携を検討

施策3-2 多様な人が主役となりにぎわいを生み出す環境の創出

取組名	取組内容	R6	R7	R8	備考
若い世代に関心を持ってもらえるようなイベント・街歩きの実施 (中心市街地にぎわい創出事業)	こまき令和夏まつりの開催、小牧にぎわい隊の定期イベント市民による街中ライブイベントへの協力や支援を行う。	実施	⇒	⇒	
地域のお祭りや連携したイベントの企画 (こまき令和夏まつり開催事業)	秋葉まつり宵まつりとこまき令和夏まつりと連携した開催を実施する。	実施	⇒	⇒	
チャレンジショップ制度等の促進	空き店舗調査、データベース整理、起業希望者とのマッチングを実施する。(空き店舗活用とあわせて実施)	制度の検討	⇒	⇒	空き店舗データベースを踏まえ検討
公共空間を活用した簡易な飲食施設等の誘致 (中心市街地にぎわい創出事業)	小牧市にぎわい広場、駅西公園でキッチンカー等を誘致する。	実施	⇒	⇒	
小牧ならではの食や土産物などを取り扱う店舗の誘致、創設 (観光推進事業)	推奨品選定会、地域資源活用奨励金制度(小牧商工会議所)により小牧市の歴史、文化及び産業をいかした観光のまちづくりを推進する。	実施	⇒	⇒	
	観光協会により移動販売車を導入した物販を実施する。	実施	⇒	⇒	
施設を訪れた人の周辺への誘導 (中心市街地にぎわい創出事業)	にぎわい広場でのイベントを、こども未来館・中央図書館のデジタルサイネージで告知する。 イベント情報をにぎわい広場Instagramにて発信する。 (流行にあったSNSツールの使用)	実施	⇒	⇒	流行にあったSNSツールの使用

施策3-3 利便性の高い公共交通ネットワークの充実

取組名	取組内容	R6	R7	R8	備考
地下鉄上飯田線平安通駅以南の延伸を推進 (公共交通利用促進事業)	名鉄小牧線の利用促進を図るとともに、関係機関へ要望活動を行う。	要望活動	⇒	⇒	
こまき巡回バス等のルート・ダイヤ設定 (こまき巡回バス運行事業)	利用状況の把握・分析を行い、地域懇談会やアンケート調査などにより、市民や利用者のニーズを把握し、ルート・ダイヤの再編を検討する。 (R8再編運行予定)	再編の検討	⇒	R8再編 運行予定	
シェアサイクルの導入 (観光推進事業) (自転車等駐車場整備事業)	小牧駅や小牧山周辺など複数箇所に拠点を設置し、誰でも利用できるシェアサイクルの導入を検討、実施する。	検討	⇒	⇒	
小牧駅バス、タクシー乗降場の集約化 (小牧駅周辺整備事業)	ランドデザインの取組方針に基づき、駅東バスターミナルの再整備を行い、現状駅西側にあるタクシー乗降場を駅東側にも配置、バス乗降場との集約化を図る。	検討	⇒	⇒	
利用台数にあった駐車場の台数確保 (小牧市駐車場整備計画の改定) (市営駐車場管理事業)	こども未来館や中央図書館のオープンにより、駐車場整備地区を中心とする地区において駐車場の状況が大きく変化することが考えられるため、現況実態調査を実施したうえでの駐車場整備計画を改定する。 (R5現況実態調査、R6駐車場整備計画改定業務)	計画改定			
市営駐車場の効率的な運用 (市営駐車場管理事業)	満空情報提供サービス及び駐車場案内の充実などによる利便性の向上を図る。	実施	⇒	⇒	